


施設名	細島験潮場								
所在地	宮崎県 日向市								
管理者等	国土地理院								
施設分野・種類	海岸	海岸							
施設概要 (明治期との関連含む)	細島験潮場は明治期に設置された現存する日本最古かつ現役の験潮場であり、過酷な気象条件にさらされながら、世紀を超えて地道な潮位観測に貢献している貴重な施設である。		文献3より引用						
築造時期	明治中期	時期詳細	明治25年						
関連人物	オランダ人技師リンドウ・陸軍工兵大尉唐沢忠備 (改築)柳瀬信誠・三樹庄蔵								
関連企業	大阪土木会社施工								
トピックス (特徴的エピソード)	日本における潮位測量は、明治5年にオランダ人技師リンドウの指導で利根川河口の銚子に「量水標」を設けたのが始まりとされおり、量水標は主要河川の河口に設けられ、目視によって干満潮位を観測していた。その後、明治21年、陸軍省参謀本部に陸地測量部が設置され、国土の測量が開始されると同時に各測点が設けられた。細島験潮場は、陸軍工兵大尉・唐沢忠備氏が位置を選定し、施工は大阪土木会社が984円92銭で担い、明治25年に、「陸軍省参謀本部陸地測量部細島験潮場」として竣工している。(参考:文献2より抜粋)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	文献1: 土木学会 選奨土木遺産解説シート ( <a href="http://www.jsce.or.jp/contents/isan/blanch/8_35.shtml">http://www.jsce.or.jp/contents/isan/blanch/8_35.shtml</a> ) 文献2: 九州地方計画協会ふるさとの土木史 ( <a href="https://k-keikaku.or.jp/xc/modules/pc_ktech/index.php?content_id=2245">https://k-keikaku.or.jp/xc/modules/pc_ktech/index.php?content_id=2245</a> ) 文献3: 国土地理院細島験潮場「登録有形文化財(建造物)」登録について ( <a href="http://www.gsi.go.jp/kanshi/tide_hosojima20180921.html">http://www.gsi.go.jp/kanshi/tide_hosojima20180921.html</a> )								
管理者等のHP (URL等)									